

松元社長の 家づくりの品質基準

誠実に対応させていただくことを 第一とする

●お客様の要望に応えると共に自分自身の家をつくる以上に真剣な気持ちでプロとしての提案を行う。お客様が気がかりな点について十分に配慮し実施する

例：見えないところをきちんと工事しているか／希望通りに施工されているか／追加や変更の費用を明確に書面でお伝えしているか／職人マナーの徹底／社員相互のコミュニケーション

【業務品質基準】

- お客様とのやり取りのすべての記録を残す
- お客様にとって不利益となったり、将来問題となりかねない事柄の見積もり段階での説明
- 完成をイメージしやすい提案を基準にする、など

※松元建設の「新築注文住宅品質基準」は上記の基準を含め14の項目からなり、関係者が携帯して遵守を義務付けられている



松元正次 社長

松元建設

1993年設立。社員47人。住宅新築、住宅リフォームのほか合併処理浄化槽工事が柱。新築住宅は年間9棟前後。

宮崎県都城市
TEL：0986・26・7322



工務店団体「シャープネット」で2014年優秀賞3賞を受賞した住宅作品の一点

カイゼン 天然素材とソーラー活用 自分たちが好む 家づくりを提案

地元の自然素材にこだわる

松元建設は創業以来、一貫して地元産の自然素材にこだわり続けてきた。毎週日曜日に見学会を行っている都城市内のモデルハウスに入ると、木の香りと無垢の床板の肌触りが伝わってくる。和室やリビングの壁は地元産シラス壁。火山の噴火でできたシラスは消臭機能や空気の浄化機能・調湿機能をもった天然素材で、左官仕上げのラフな表情が温かみのある表情を壁に与えている。

断熱材には木質系天然素材でセルロースファイバーを採用。壁内に充填することによりシラス壁との相乗効果で家が呼吸するような働きが生じ、夏でも室内に入るとひんやり感じられる。ほとんどエアコン要らず。自然素材で家をつくることの大切さを感じさせる。「シラス壁は本漆喰に比べやや安価で高級感がある。セルロースは高性能グラスファイバー並みの断熱性能を持ちながら隙間のない施工が可能で、しかも自社大工で

施工できるのが強み」と松元社長は言う。このほか塗料や防蟻材などにも安全性を考えた商品が選ばれている。

太陽熱利用システム導入

モデルハウスでは太陽熱や夜間の放射冷却を利用して野外の新鮮な空気を暖めたり、冷やしたりして室内に導入する自然エネルギー活用システム「そよ風」が導入されている。金属屋根の裏側に空気を通し、熱交換した空気をファンで室内床下に取り込み、蓄熱・蓄冷することで家の中全体を快適な温度に保つソーラーシステムだ。機械による空調を制限したシンプル設計について「理想的なシステム。すべての家にこのシステムを導入できるような勧めたい」としている。

松元社長はまた「自分たちが本当に気に入ったデザインや納得した製品をお客様に自信をもって提案する工務店でありたい」とし、女性スタッフが中心の「設計・デザインおうかがい隊」を結成し、女性中心のデザイン力、提案力強化に期待している。

3 自然素材と太陽エネルギー活用



「そよ風」の展示場実演モデル



塗り壁と杉板など自然素材で構成される松元建設の家



「林を抜いて風が来る家」を目指した庭園設計